

令和7年度 府民参加型公共事業委員会

令和7年9月1日(月)



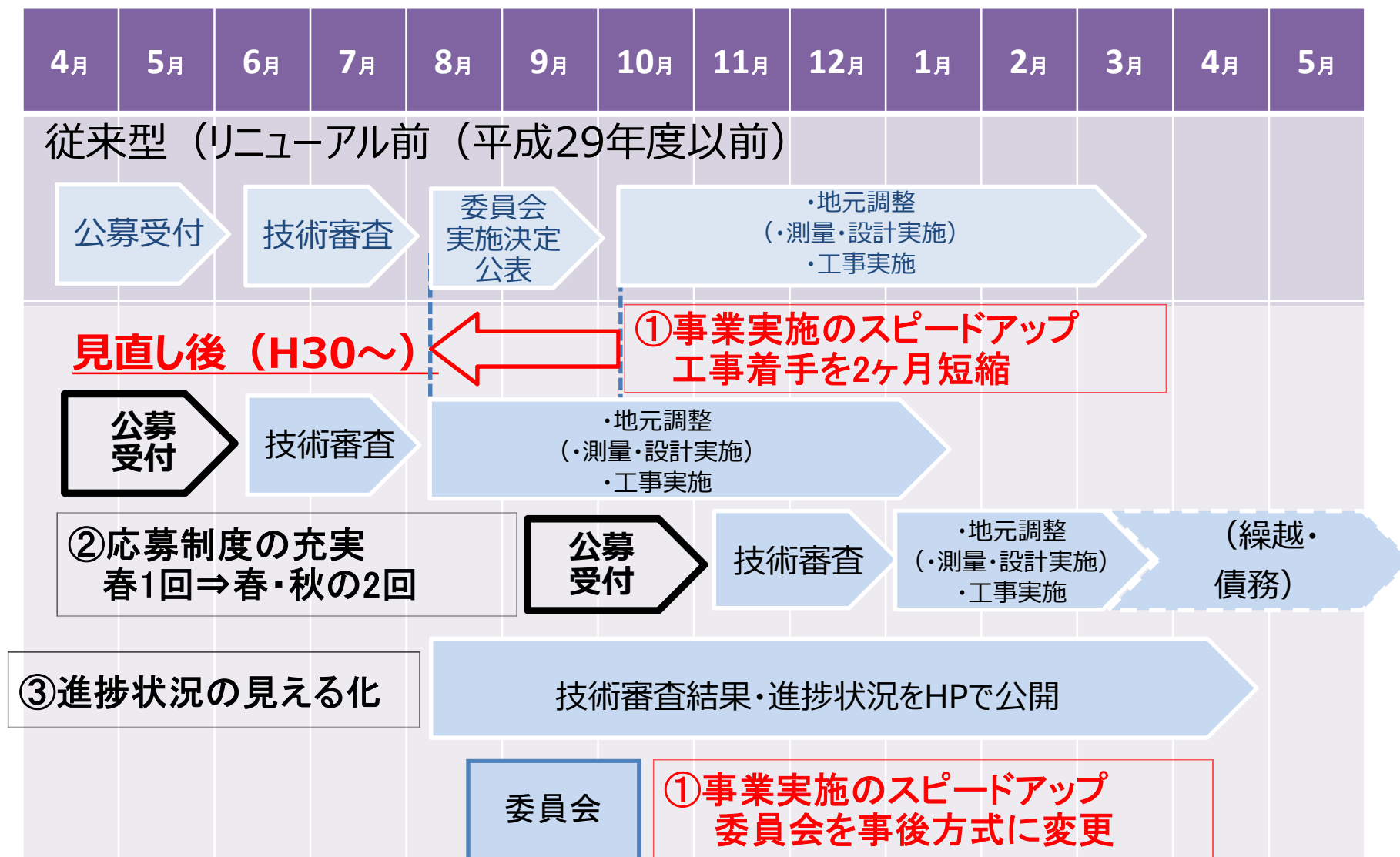
京都府建設交通部指導検査課
京都府警察本部 交通規制課

次 第

(1) 府民協働型インフラ保全事業について

- ①事業制度について
- ②令和6年度事業の概要について
- ③提案者情報及びアンケート調査について
- ④制度運用について

①事業制度について(年間工程)

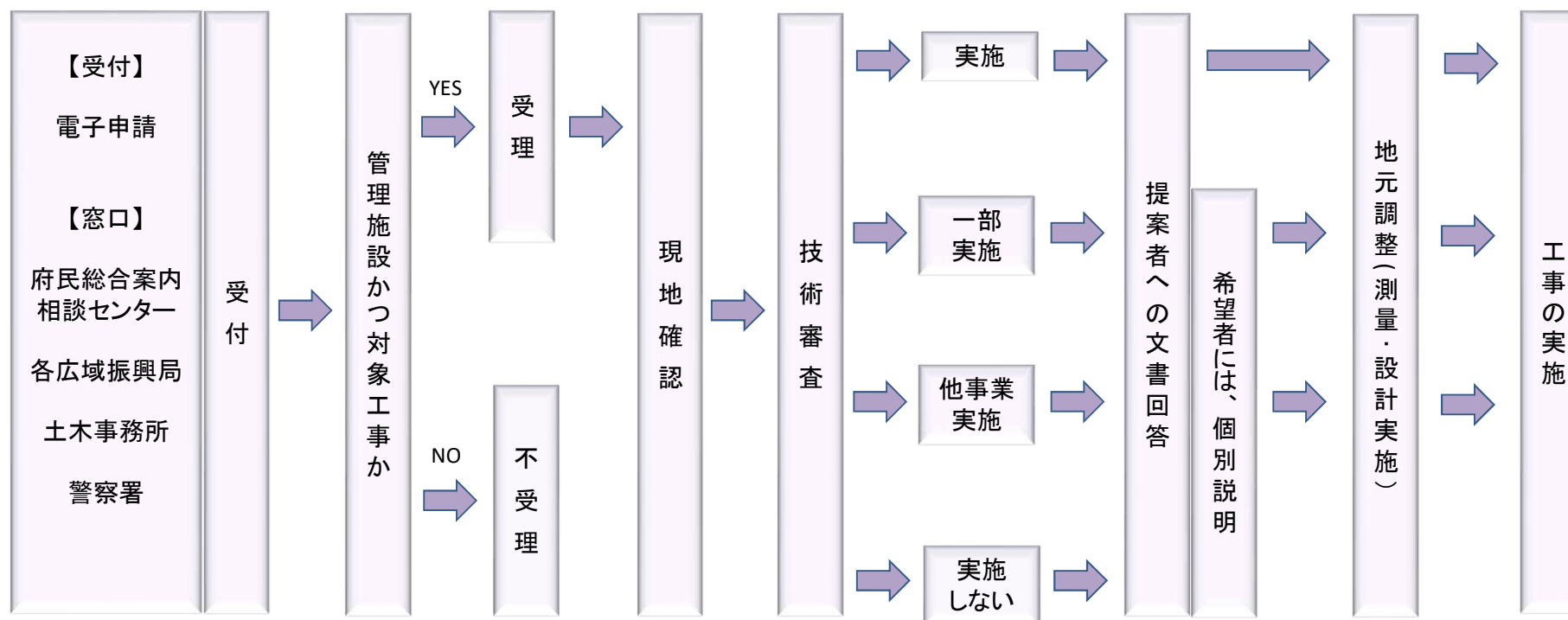


次年度以降における事業の改善検討に活用

①事業制度について(対象工事・運用)

	対象工事	運 用
リ ユ ー ア ル ③ 〃	【安心・安全整備】 一 側溝整備による歩行空間確保 二 歩道の段差解消 三 ガードレールや転落防止柵の設置 四 河川浚渫 五 立木伐採 六 信号機の改良、横断歩道の設置 ※ 用地買収を伴う提案は不可 【インフラ長寿命化対策】追加 一 舗装補修 二 河川護岸等の修繕 三 道路法面等の修繕 四 標識等の支柱部の腐食補修など	①募集は春(4～5月)・秋(9～10月)の2回 ※ H30は 2次募集は、安心・安全整備(河川護岸や道路法面等の修繕、河川浚渫)に限定して募集したが、<u>R1以降、2次募集でもインフラ長寿命化対策を募集</u> ※ ・ 1次募集:4～5月で年度内に完成できる工事等を採用 ・ 2次募集:9～10月で次期出水期までに対策が必要な工事等を優先して採用 ※ コロナ対応 R2はコロナ禍の影響を考慮し、<u>2次募集開始を1か月前倒しし、募集期間を3ヶ月(8～10月)に拡大。</u> ②提案フォームはチェック式の導入等により、簡素化 ※ R2以降の改善 安心・安全整備、インフラ長寿命化対策で様式を分けていたが、分類が分かりにくいとの意見があったため、<u>様式を統一</u> ③委員会の審査は省略し、<u>事務所の技術審査をもって実施決定。</u> 完成後にフォローアップ委員会を開催(R2.8.4) ⇒ 工事着手までの期間を<u>2ヶ月短縮</u> ④審査結果に加え、「設計中」「入札手続中」「工事中」「完成」などの進捗状況もHP公表 ※ R2以降の改善 応募要領に公表時期を明記

①事業制度について(提案から工事实施まで)



- ・受付時に明らかに不受理、不採択となるものについては口頭で理由を説明。
- ・不受理となったものについては、提案者に理由を説明のうえ、管理者情報等を提供。
- ・不採択の場合は、提案者へ文書回答と合わせ、希望者に電話等で個別に説明。
(採択となった提案については、文書回答のみ)

②令和6年度事業の概要について(提案・採択件数)

地域別提案・採択一覧

(単位:件)

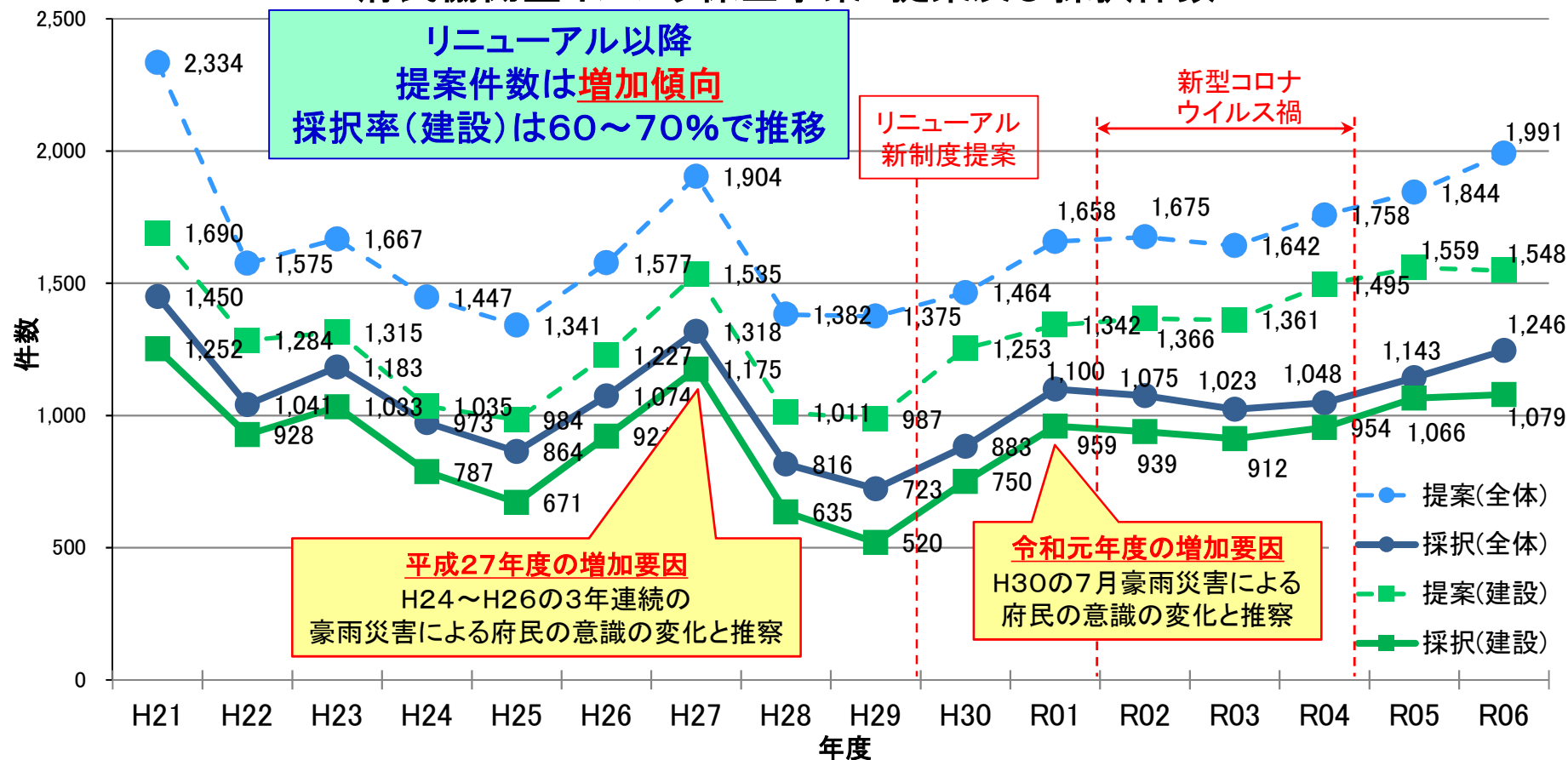
	1次募集(4/1~5/31)			2次募集(9/2~10/31) ^{※2}			経過観察 追加採択 ^{※3}	合計	
	提案	採択 ^{※1}	経過観察 ^{※3}	提案	採択 ^{※1}	経過観察 ^{※3}		提案	採択 ^{※1}
京都市域	24	10	0	4	3	0	0	28	13
山城管内	136	105	2	107	93	0	0	243	204
乙訓	20	16	0	10	9	0	0	30	25
山城北	50	35	2	77	73	0	0	127	108
山城南	66	54	0	20	17	0	0	86	71
南丹管内	206	158	0	130	98	0	0	336	256
南丹	206	158	0	130	98	0	0	336	256
ダム	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中丹管内	238	174	1	153	120	0	0	391	284
中丹東	153	115	1	86	65	0	0	239	170
中丹西	85	59	0	67	55	0	0	152	114
丹後管内	310	177	0	223	120	3	0	533	297
港湾局	8	8	0	9	7	0	0	17	15
小計	922	632	3	626	447	3	0	1,548	1,079
警察	440	167	0	-	-	-	0	440	167
その他	3	0	0	0	0	0	0	3	0
合計	1,365	899	3	626	447	3	0	1,991	1,246

採 択 率 62.6%

- ※1 他事業で実施するもの、経過観察を行うものは、採択件数に含まない。
- ※2 安心・安全整備の提案のうち、採択を保留したものは、2次募集の提案と合わせて技術審査等を行い、採択を決定する。
- ※3 インフラ長寿命化対策の提案のうち、採択基準に達しておらず、経過観察としたものは、損傷の進行に応じて採択を決定する。

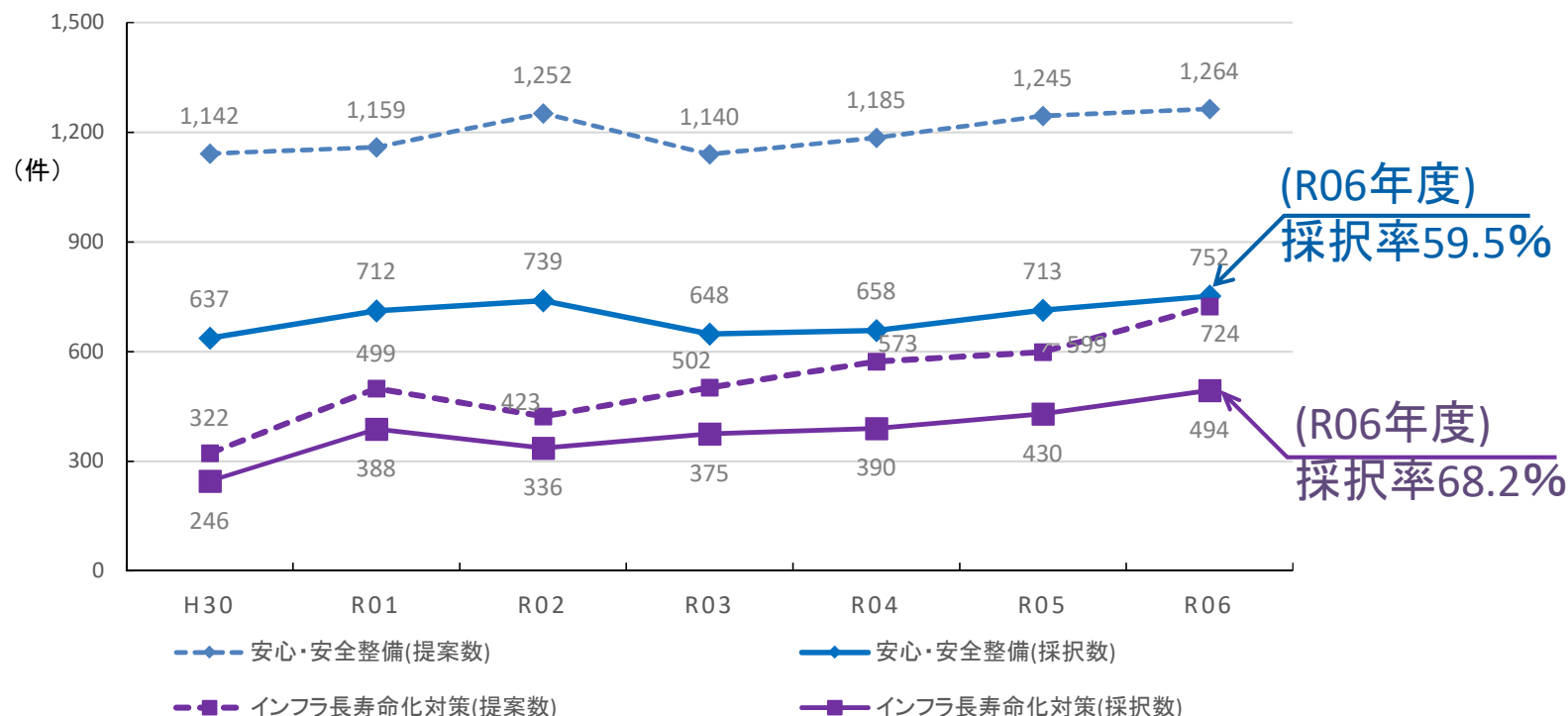
②令和6年度事業の概要について(提案・採択推移)

府民協働型インフラ保全事業 提案及び採択件数



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07 (1次のみ)	合計
提案 (全体)	2,334	1,575	1,667	1,447	1,341	1,577	1,904	1,382	1,375	1,464	1,658	1,675	1,642	1,758	1,844	1,991	1,306	27,940
採択 (全体)	1,450	1,041	1,183	973	864	1,074	1,318	816	723	883	1,100	1,075	1,023	1,048	1,143	1,246	-	16,960
提案 (建設)	1,690	1,284	1,315	1,035	984	1,227	1,535	1,011	987	1,253	1,342	1,366	1,361	1,495	1,559	1,548	915	21,907
採択 (建設)	1,252	928	1,033	787	671	921	1,175	635	520	750	959	939	912	954	1,066	1,079	584	15,165

②令和6年度事業の概要について(提案・採択区分)



■安心・安全が1,264件、長寿命化対策が724件。長寿命化に係る提案が約1/3(R6は36.4%)。

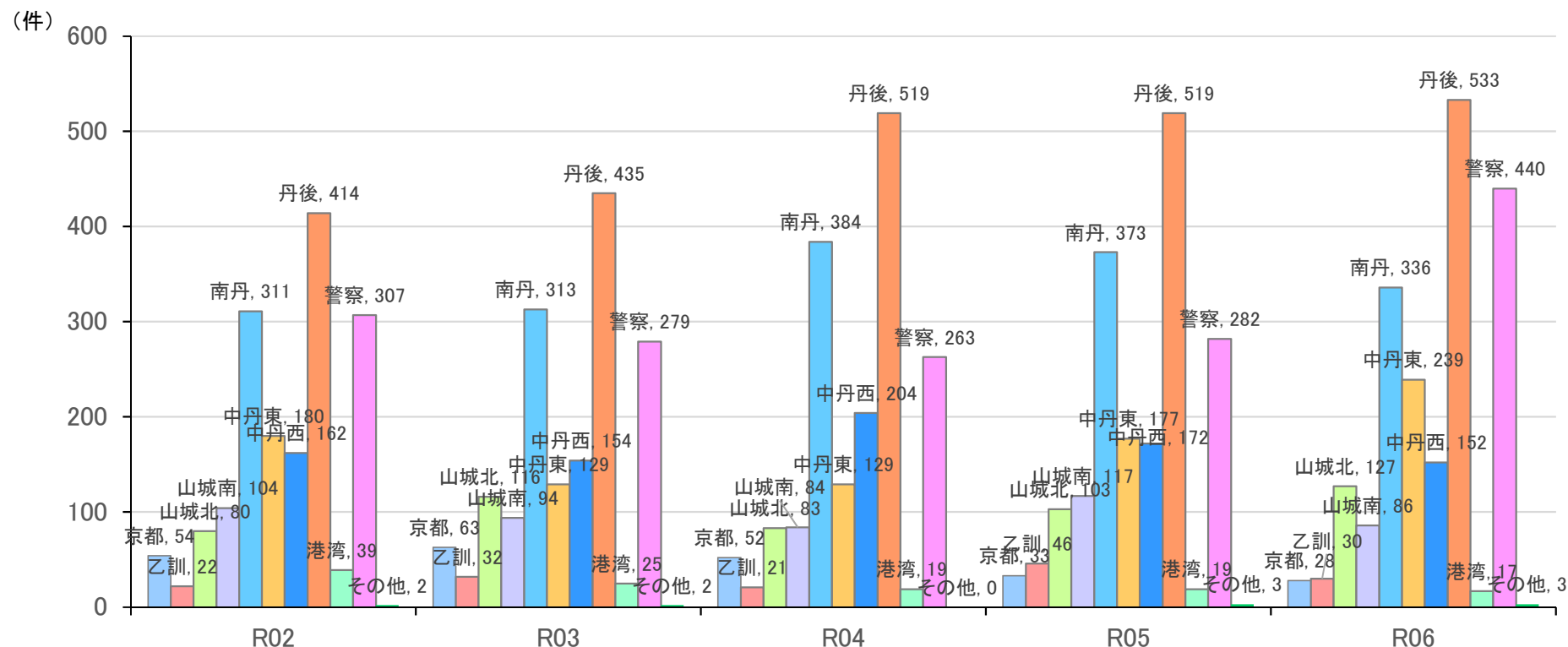
■昨年度に引き続き、提案に占めるインフラ長寿命化の割合が上昇傾向。

■採択率は長寿命化対策が安心安全を上回る。

安心・安全59.5%、長寿命化対策が68.2%。

舗装のひび割れや側溝の整備、河川の浚渫や護岸の改良に関する提案が多く、日常的に利用されている府民の皆様からの“気づき”により、府民協働によるインフラ保全を着実に推進できている。

②令和6年度事業の概要について(地域別提案状況(全体))



建設交通部関係の提案では、南丹以北地域の提案が約8割
 (R2・81.0% , R3・77.6% , R4・83.9% , R5・80.8% , R6・81.4%)

■提案地区の偏りが目立つ。

→南丹以北地域は、各土木事務所の管轄する面積が広く、道路や河川の管理延長が長いことが要因の一つである。

②令和6年度事業の概要について(不採択理由:第1段階チェック)

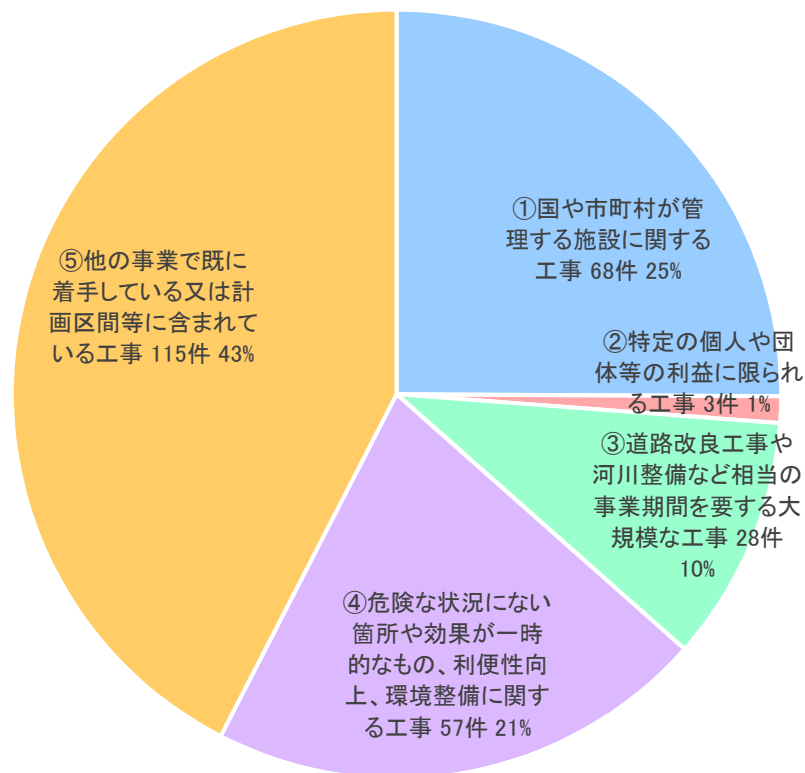
R06

不採択273件の内訳

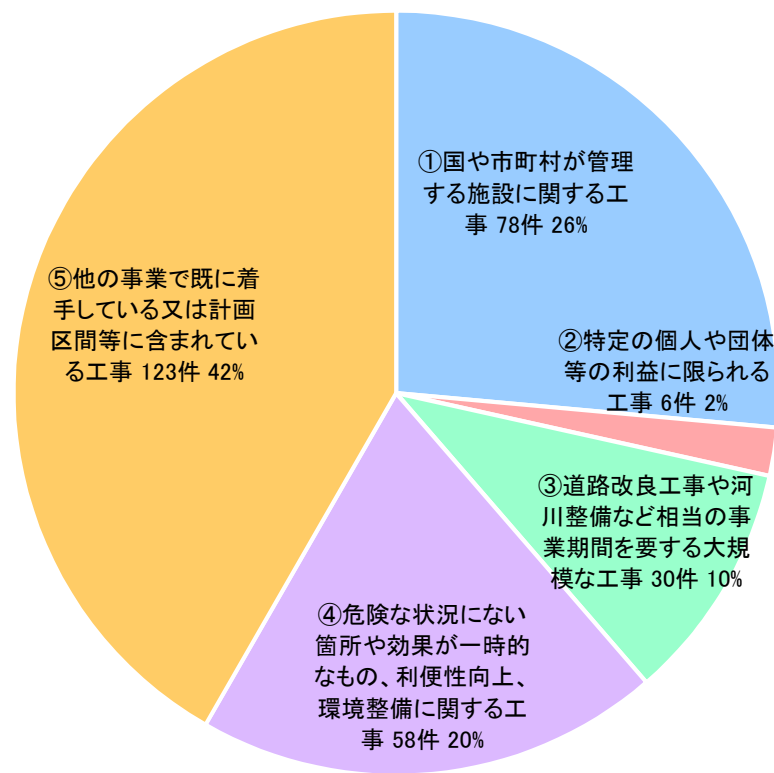
【参考】R05

不採択295件の内訳

提案数1,548件⇒第2段階チェックへ1,275件



提案数1,559件⇒第2段階チェックへ1,264件



■不採択内訳の傾向は昨年度と概ね同様。

■府の計画と整合する「⑤他の事業で既に着手している又は計画区間等に含まれている工事」が4割超。「①国や市町村が管理する施設に関する工事」、「④危険な状況にない箇所や効果が一時的なもの、利便性向上、環境整備に関する工事」の順に多い。

②令和6年度事業の概要について(不採択理由:第2段階チェック)

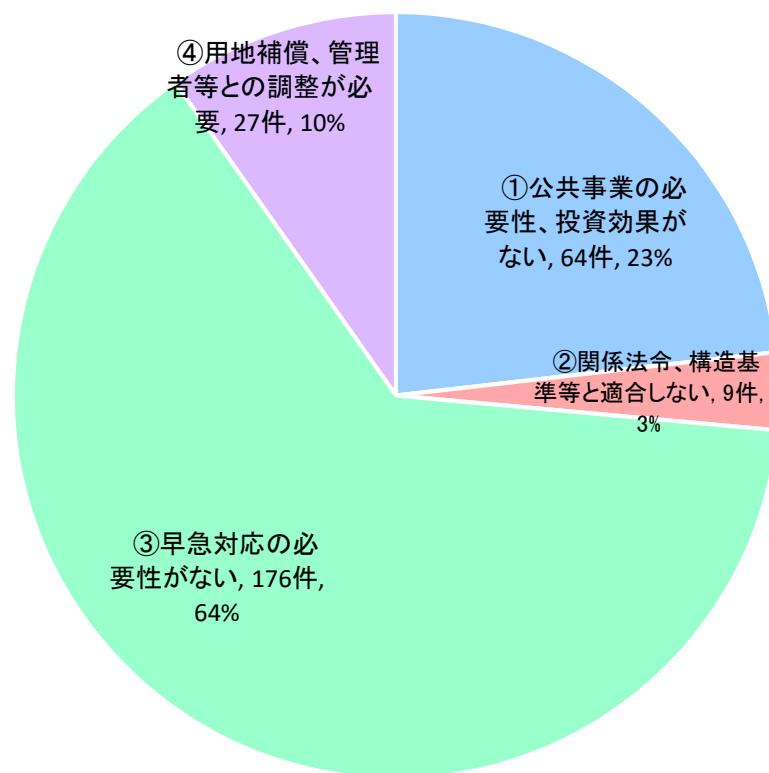
R06

不採択196件(総数276件)の内訳

【参考】R05

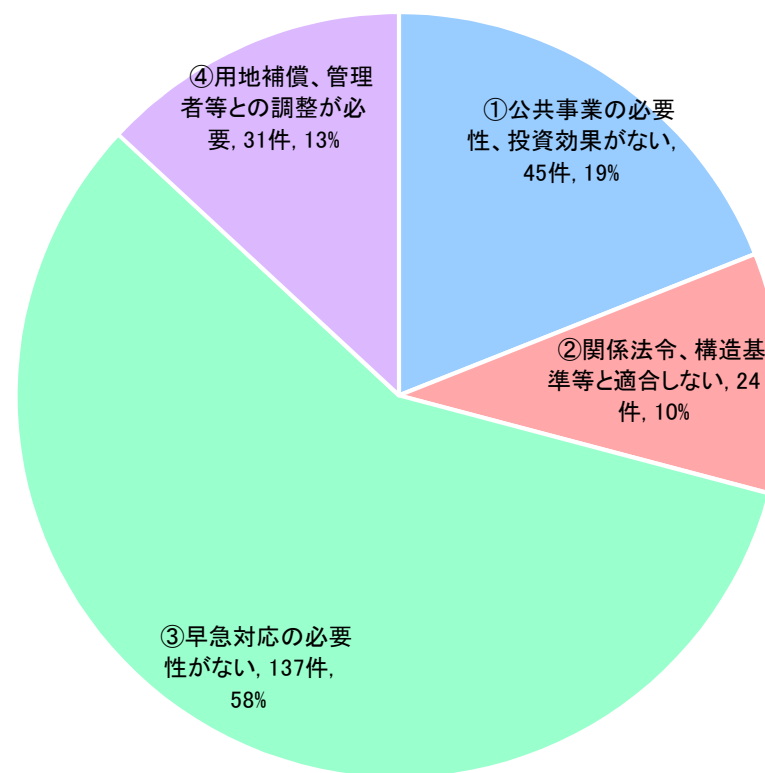
不採択198件(総数237件)の内訳

第2段階チェック1, 275件⇒採択件数1, 079件



※複数項目にチェックの場合がある。

第2段階チェック1, 264件⇒採択件数1, 066件



※複数項目にチェックの場合がある。

■不採択内訳の傾向は昨年度と概ね同様。

■「①公共事業の必要性、投資効果がない」、「③早急対応の必要性がない」が不採択理由の約9割。

②令和6年度事業の概要について(採択事例①)

安心・安全整備

【中丹東】岡田川(舞鶴市)

浚渫(一部実施)



安心・安全整備

【丹後】浜丹後線(宮津市)

側溝整備



②令和6年度事業の概要について(採択事例②)

安心・安全整備

【山城南】木津加茂線(木津川市)

カーブミラーの改善



安心・安全整備

【乙訓】西京高槻線(大山崎町)

カラー舗装



②令和6年度事業の概要について(採択事例③)

インフラ長寿命化

【中丹東】綾部大江宮津線(綾部市)

舗装修繕



インフラ長寿命化

【中丹西】市島和知線(福知山市)

センターライン、サイドラインの引き直し



②令和6年度事業の概要について(不採択事例)

第1段階チェック

安心・安全整備

【中丹西】樹木の伐採



安心・安全整備

【南丹】右折車線整備



第2段階チェック

安心・安全整備

【南丹】しゅんせつ・樹木伐採



インフラ長寿命化

【丹後】舗装修繕



③道路管理上支障とならず早期対応の必要性がない

②令和7年度事業の概要について(進捗状況)

建設交通部 令和7年6月末時点

(単位:件)

		提案件数	採択件数	準備中	設計中	入札手続中	工事中	完成	廃工	着手率
R02	1次	706	506	0	0	0	2	500	4	100.0%
	2次	600	433	0	0	0	0	430	3	100.0%
	合計	1,366	939	0	0	0	2	930	7	100.0%
R03	1次	894	565	0	1	1	0	562	1	99.8%
	2次	467	347	0	0	1	0	341	5	100.0%
	合計	1,361	912	0	1	2	0	903	6	99.9%
R04	1次	955	576	5	8	2	5	554	2	97.7%
	2次	540	378	3	13	2	6	351	3	95.7%
	合計	1,495	954	8	21	4	11	905	5	97.0%
R05	1次	912	589	11	9	2	24	541	2	96.6%
	2次	647	477	21	12	0	23	421	2	93.5%
	合計	1,559	1,066	32	21	2	47	962	4	95.2%
R06	1次	922	629	83	61	9	63	413	0	77.1%
	2次	626	450	114	97	6	46	187	0	53.1%
	合計	1,548	1,079	197	158	15	109	600	0	67.1%

平均
81.0%

$$\text{着手率} = \frac{\text{入札手続中} + \text{工事中} + \text{完成}}{\text{採択件数} - \text{廃工}}$$

■R02年度提案の案件で未着手が解消。

■R03年度まで提案は、準備中が解消。

今後は、設計中の提案の早期完成を目指す。

■直近2年度分の提案に関しては、準備中件数は昨年度(R04～R05の合計192件)より多いが、着手率の平均値が昨年度より高い。(昨年度78.4%に対し今年度81.0%)

引き続き、準備中の提案の早期調整、設計中の提案の早期発注を目指す。

※進捗状況は定期的に京都府ホームページで公表。

③提案者情報及びアンケート調査について(調査概要)

【提案者情報及びアンケート調査内容】

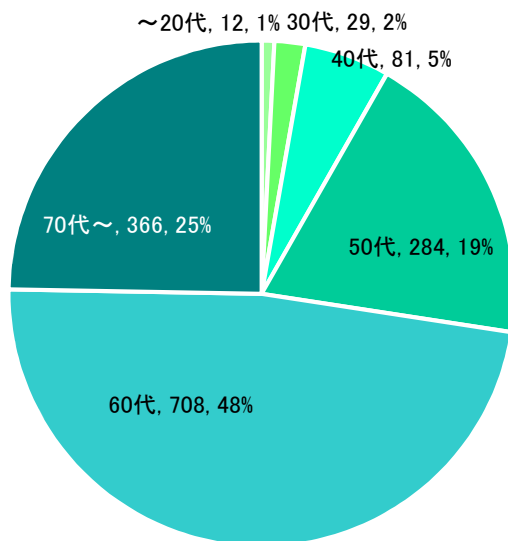
- ・提案者の年代
- ・提案者の職業
- ・自治会からの提案割合
- ・提案内容に気付いた経緯
- ・提案内容に関する相談の有無
- ・審査結果に関する説明の希望
- ・提案方法(電子申請の利用状況等)

【令和6年度アンケート調査回答数(建設交通部)】

- ・提案数 1, 548件 (1次 922件＋2次 626件)
- ・回答数 1, 527件 (1次 910件＋2次 617件)
- ・回答率 98. 6% (昨年度 98. 3%)

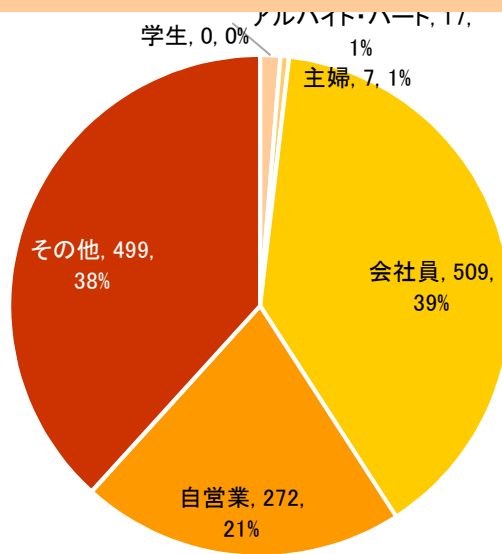
③提案者情報及びアンケート調査について(提案者構成・提案経緯)

提案者の年代



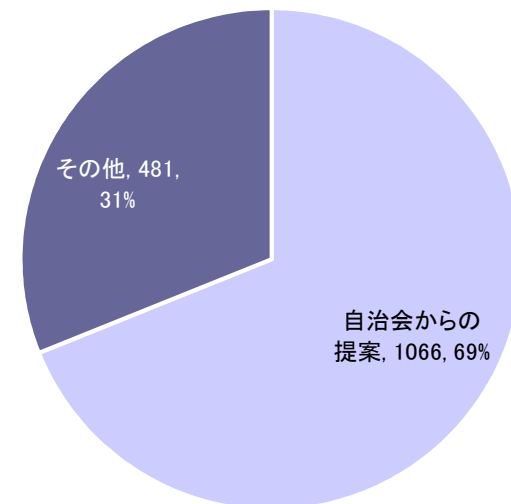
昨年度と概ね同様。60～70代が約7割。

提案者の職業



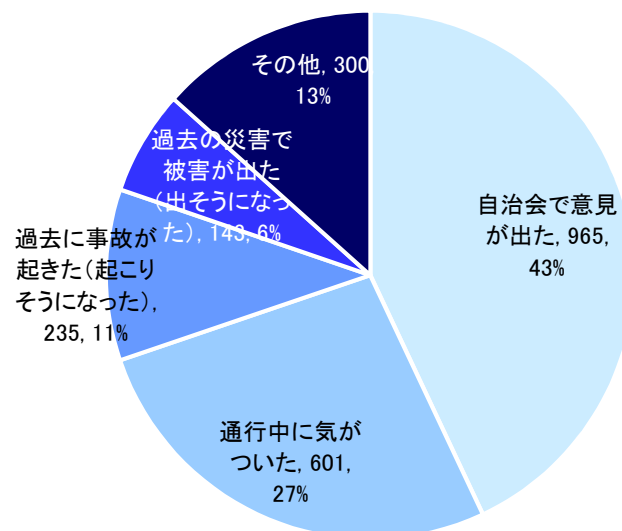
昨年度と概ね同様の構成比。

自治会からの提案割合



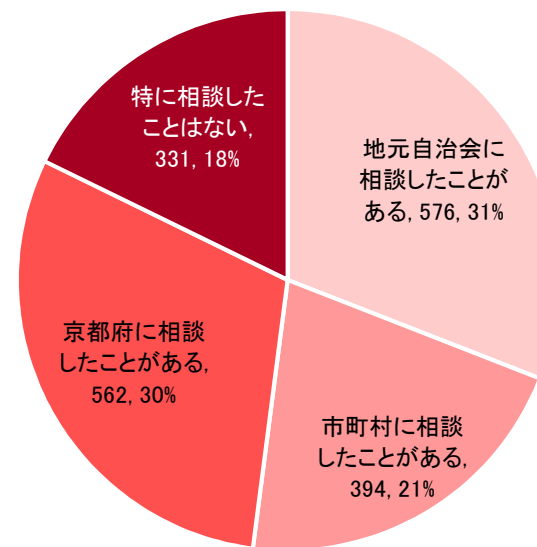
昨年度と概ね同様。自治会の提案が半数以上。

提案内容に気付いた経緯



昨年度と概ね同様。自治会・通行中が約7割。

提案内容に関する相談の有無



昨年度と概ね同様。相談したことがあるが約8割。

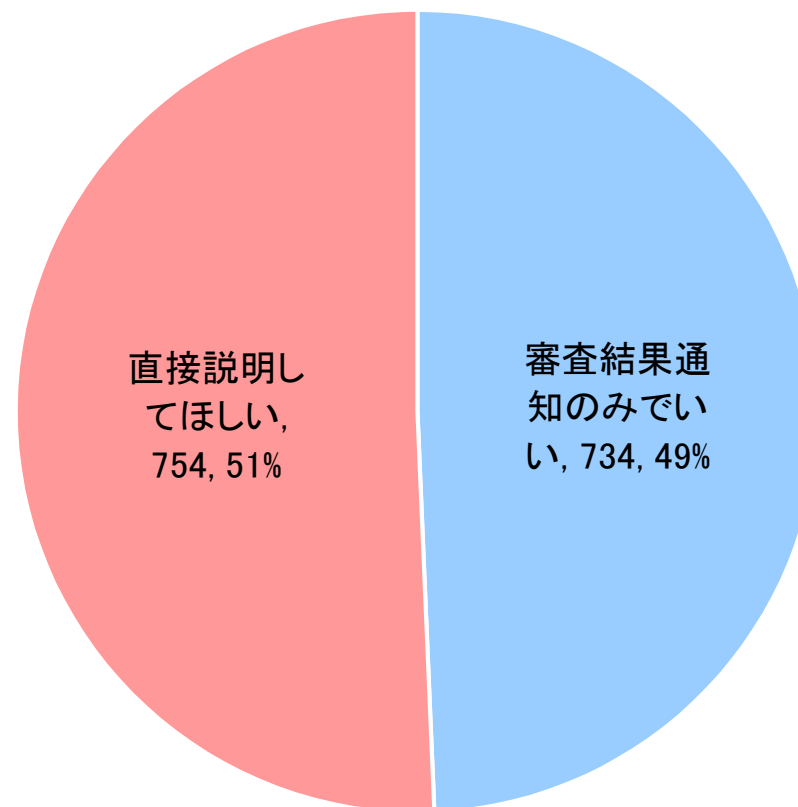
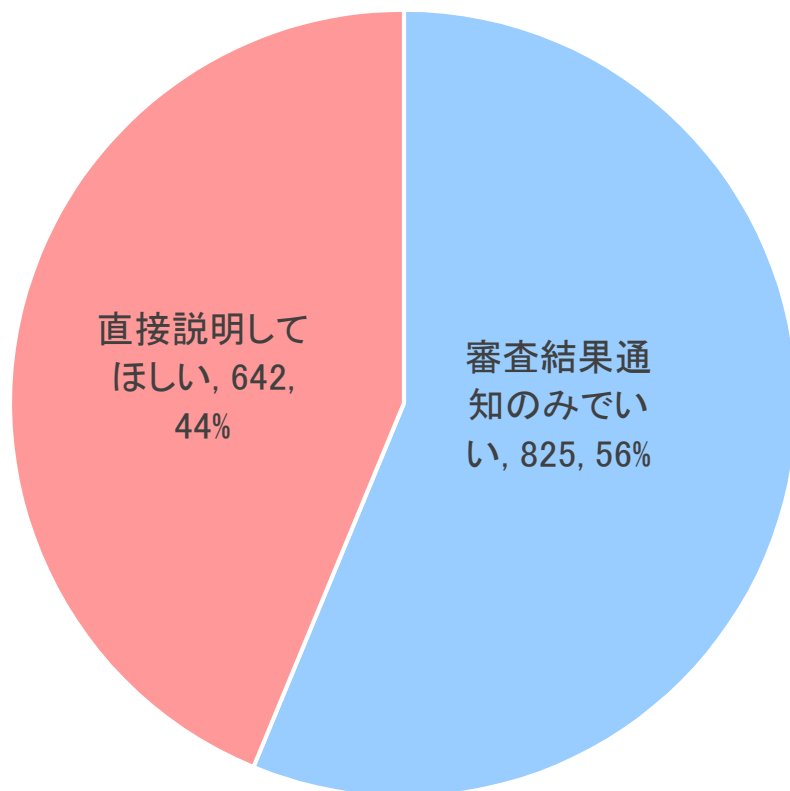
③提案者情報及びアンケート調査について(審査結果説明)

R06

調査回答1,467件の内訳

【参考】R05

調査回答1,488件の内訳

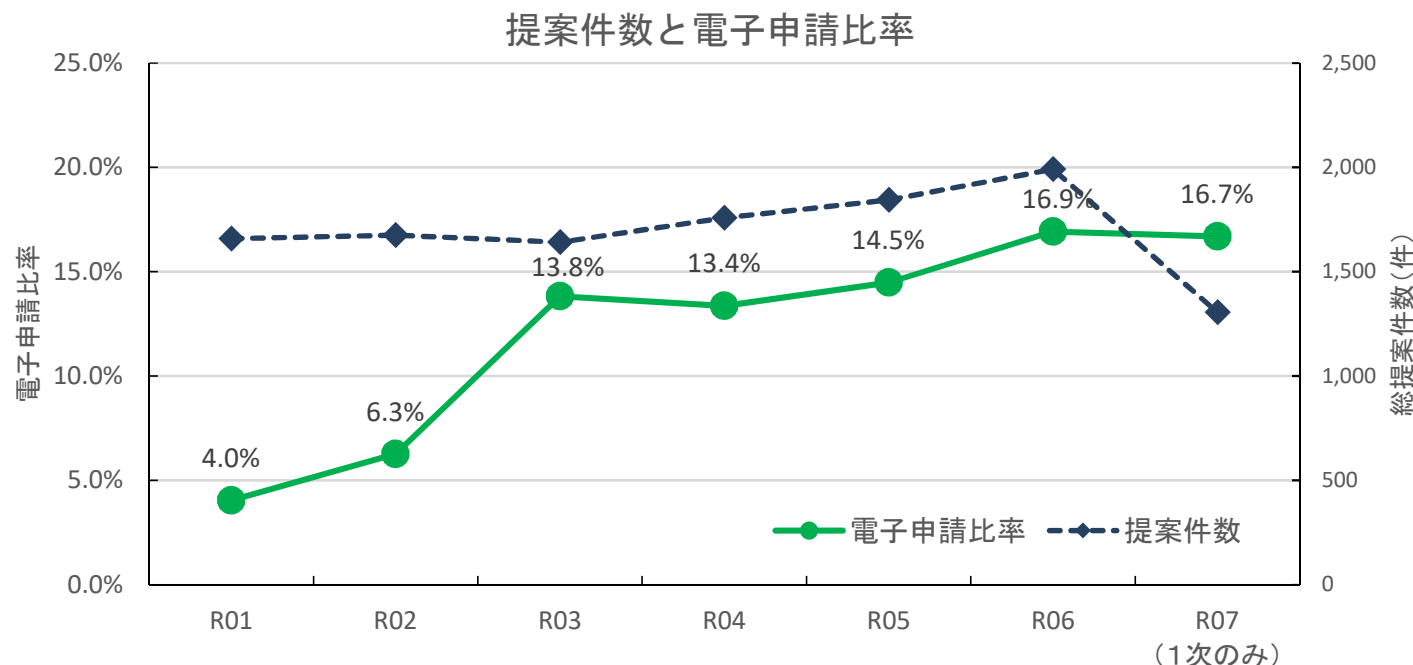


■昨年度と比べ、「審査結果通知のみでいい」が増加。(参考: R04は「審査結果のみ～」が53%)

※R2の2次募集から不採択となった場合は、文書の送付に加えて、希望者には電話で説明を実施。

■昨年度の委員会意見(提案者への丁寧な説明を)を庁内会議等でも共有し、引き続き丁寧に実施。

③提案者情報及びアンケート調査について(提案方法)



	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07 (1次のみ)
提案件数	1,658	1,675	1,642	1,758	1,844	1,991	1,306
電子申請比率	4.0%	6.3%	13.8%	13.4%	14.5%	16.9%	16.7%

- 過年度の提案件数、昨年度の委員会意見を踏まえ、R6の1次募集からFAXによる提案を廃止したところ。
- 電子申請フォームによる提案件数は、対前年1.17倍で件数、割合ともに増加傾向。
- 今後も様々な提案ニーズに対応するため、電子申請、持参、郵送による提案の受付を実施予定。

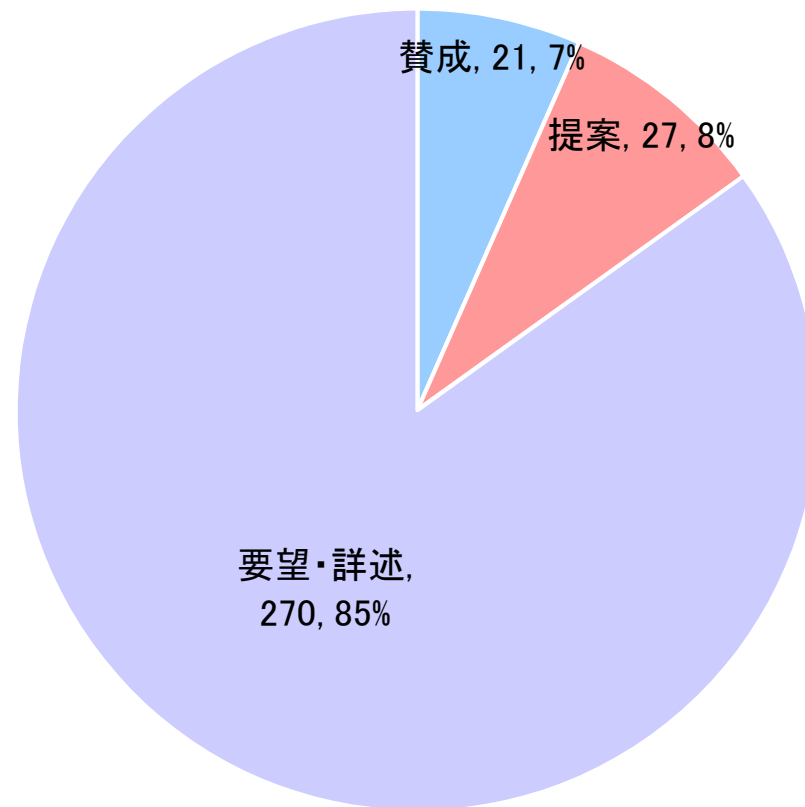
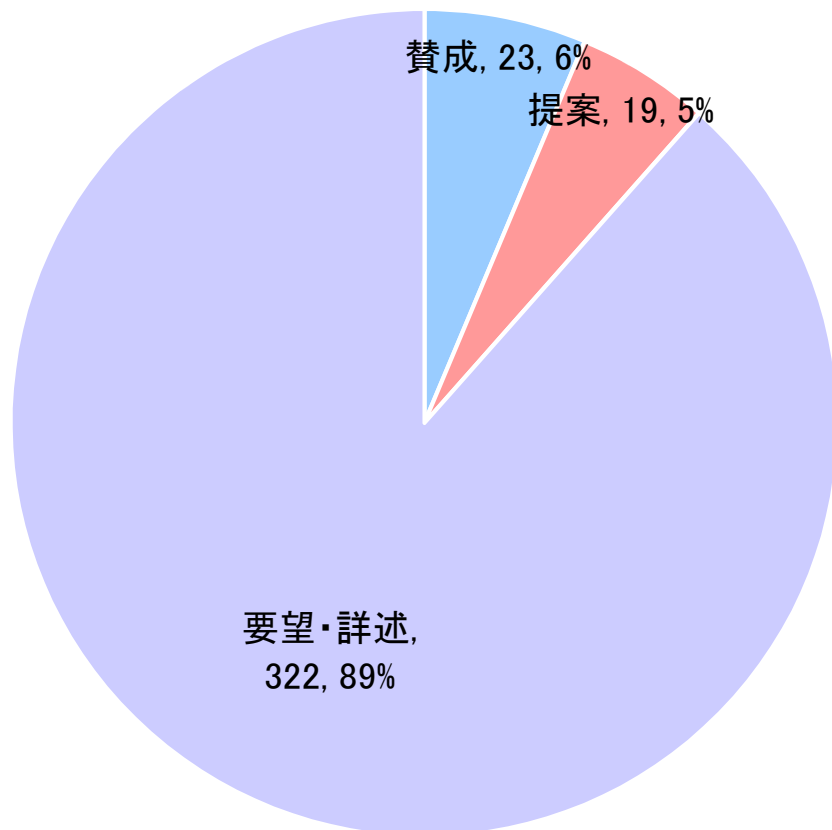
③提案者情報及びアンケート調査について(自由意見①)

R06

自由意見364件の内訳

【参考】R05

自由意見318件の内訳



■昨年度と同様、要望・詳述(危険な状況で早期実施を希望、出水期までの実施を希望等)が約9割。
■賛成(声を届けられてありがたい等)や提案(地域としての作業協力等)も一定数(約20件)見られる。

③提案者情報及びアンケート調査について(自由意見②)

<賛成(R06)>

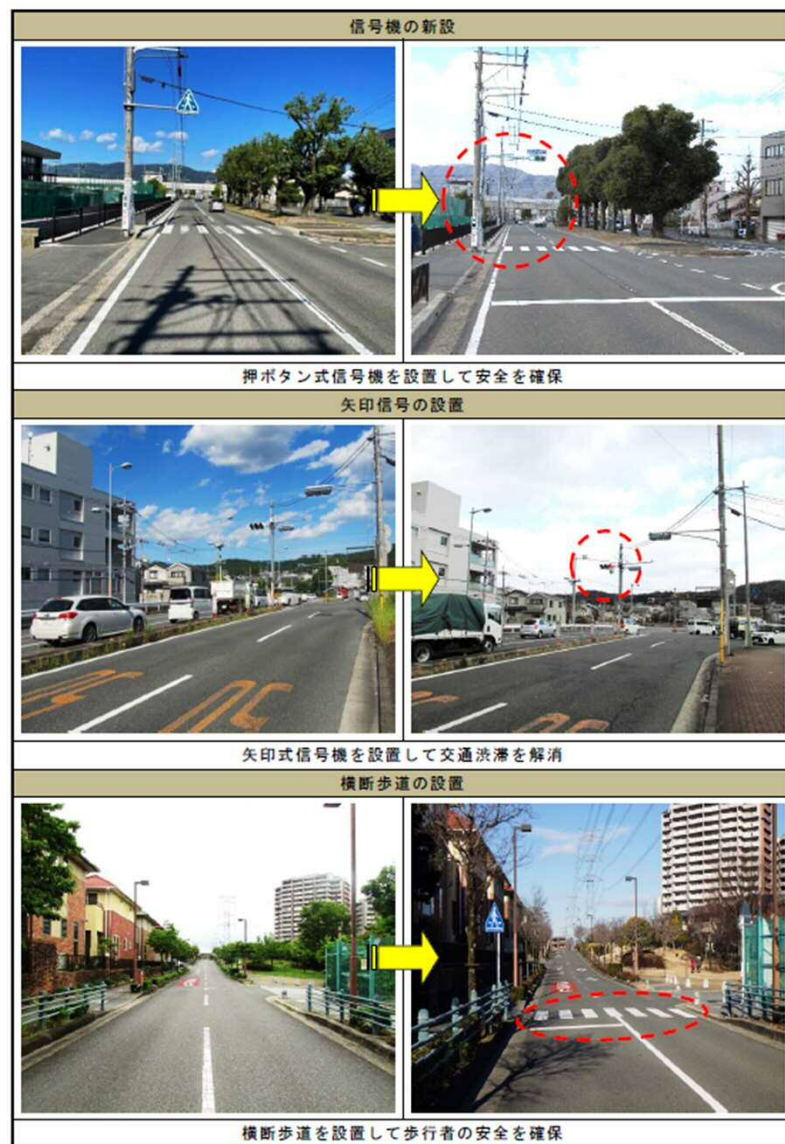
- 日頃は府民が安心して府道を使用できるように尽力いただいていることにお礼申し上げます。また、毎日のように道路パトロールをしていただき、住民の細かい要望にまで耳を傾けて頂いていることに感謝申し上げます次第です。
- 昨年度は、同制度で要望させていただいたところ、全てについて実施していただき、ありがとうございました。地元の方からも喜びのお声が届いています。本年度も、引き続き要望いたしますので、よろしくお願いします。
- 昨年、一部を施工頂き、感謝している。
- このような府民協働型インフラ保全事業は大変助かります。こんな小さな村にも耳を傾けて頂きありがとうございます。これからも府民協働型事業を続けてください。
- 事務所におかれては、日頃から安全な道路づくりに努めていただいております。今後とも府民や地域住民に寄り添った道路行政を推進していただきますようお願いいたします。
- 京都府に同様の要望を提出しているが、身近な課題・要望を解決していただくには良い政策であると思う。
- 府民の意見や要望を基に事業を推進する取組はとても良いことだと思います。府民の安心安全のため可能な限り提案内容の実現をお願いします。
- 庁舎でご説明を受けました。内容がわかりやすく、行政への申請書類の作成に特別な技術が必要なく申請しやすい感じで良いと思います。
- 判りやすく気軽に提案できる事業があり感謝いたします。

<提案(R06)>

- 工事実施期間中は、通行止め等協力させていただきます。
- 公募の期間を区切らず通年いつでも対応出来る様をお願いします。
- 京都府におかれましては、提案の地域のみならず、その上流域・下流域など、よく広域な視点でのインフラ保全をご高配いただければと思います。
- このような事業があることを住民のほとんどが知らない。事業自体は大変いいことなので告知方法等をもっと広げたらいいと思います。
- 府民協働インフラ保全事業で取り上げていただけないのなら、他の事業で対策をお願いいたします。少しでも早く、多くの方のご協力が必要です。
- 採択の場合も電話での説明を希望。
- 区民にも説明できる文書でもってお願いしたい。
- 何年も同じ様式を使っているならもう少し書きやすい様式に改めるべきだ。老人でも書きやすい様式にしないと要望を受け付ける意思が感られないと思うが如何か。
- 審査結果並びに実施結果等については、申請した自治体へは書面にて回答をいただきたい。※住民に対して説明する必要があるため。
- 過去の技術審査結果は「大規模工事となるため実施しない」という理由で×であったが、この事業で予算が確保できないなら、他の事業での実施を検討するなど、再度、考え直してほしい。

④制度運用について(警察関係の事例の掲載)

(4) 対象工事例 (京都府警察が管理する交通安全施設)



(3) 老朽化・劣化例 (京都府警察が管理する交通安全施設)



令和7年度1次募集から、警察案件の提案及び実施事例を、新たに応募要領に掲載

④制度運用について(自治会等への周知)

【南丹土木事務所】市町の協力を得て、自治会に周知して住民に周知

【中丹西、丹後土木事務所】市町の協力を得て、回覧板等により自治会に周知

中丹西土木事務所管内 配布チラシ(今年度の変更点)

回覧

募集期間は**10月31日(木)まで!!**

府民協働型インフラ保全事業

—2次募集—

皆様の「気づき」をいかし、**小規模**(概ね500万円以下)で

直ぐに**安心・安全につながる提案**をお待ちしています

予算の関係上対応出来ない場合がありますので承下さい

【対象となる施設】

○京都府が管理する道路や河川、建物等

※2次募集では、信号機や横断歩道等の交通規制に関する提案は受付けておりません。

【募 集 期 間】

○令和6年9月2日(月)～10月31日(木)(当日消印有効)

【提 案 方 法】

○提案書は受付窓口へ持参するか、郵送、京都府ホームページ(提案フォーム)のいずれかの方法でご提出ください。

受付窓口、宛先

〒620-0055 福知山市篠尾新町 1-91 京都府中丹西土木事務所 企画・総務契約課
企画調整係

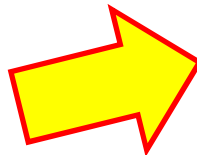
【不採択事例】裏面写真参照

○せっかく提案頂いても、以下は不採択となりますので御注意下さい。

- 1) 工事の規模が大きいものや用地買収を伴うもの
- 2) カーブミラーの設置(例：市道から府道へ出るとき、見えにくい等)
- 3) 防犯灯の設置、農業用取水施設の補修等
- 4) 河川の浚渫で、土砂の堆積が著しいとは認められないもの

※不明な点は、企画調整係 0773-22-5811 にご相談ください

京都府ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/koubo-kouji/>





回																
覧																

令和7年4月17日
福知山市道路河川課

令和7年度 1次 府民協働型インフラ保全事業

募集期間は5月30日(金)まで！

皆様の「気づき」をいかし、小規模(概ね500万円以下)で
直ぐに安心・安全につながる提案をお待ちしています

【対象となる施設】

○京都府が管理する道路や河川、建物等

【採択事例】

側溝と舗装面の段差解消



河川敷の整備



積極的な提案を呼ぶ かける表現に

【募集期間】

○令和7年4月1日(火)～5月30日(金)(当日消印有効)

【提案方法】

○提案書は受付窓口へ持参するか、郵送、京都府ホームページ(提案フォーム)のいずれかの方法でご提出ください。

受付窓口、宛先(先ずはお気軽に)ご相談下さい)

〒620-0055 福知山市篠尾新町 1-91 京都府中丹西土木事務所
企画・総務契約課 企画調整係 0773-22-5811

京都府ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/koubo-kouji/>

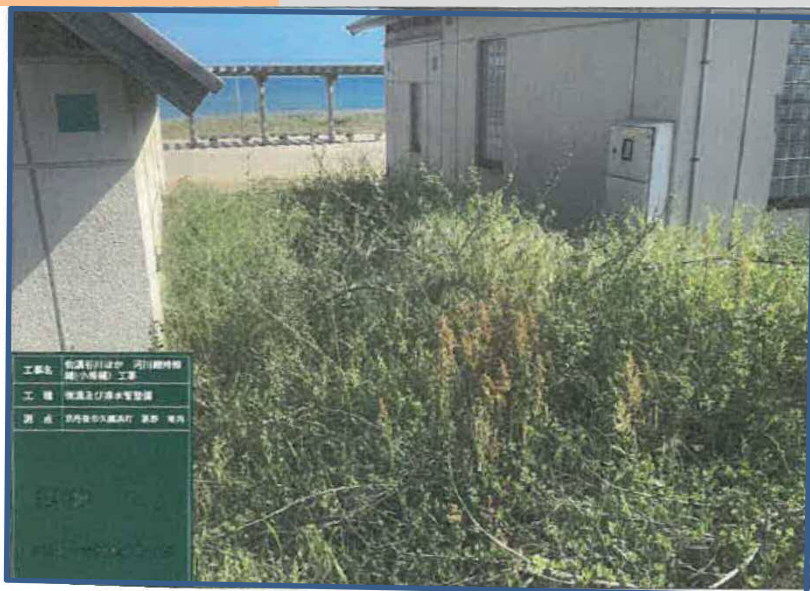
積極的な提案を呼びかける表現に

④制度運用について(他事業実施事例)

安心・安全整備

【丹後】葛野園地(京丹後市)

砂の堆積改善(他事業実施)



安心・安全整備

【山城北】田原川(宇治田原町)

堆積土砂の浚渫(他事業実施)



【参考】令和6年度委員会意見(R6.10.1開催)

<玉田座長>

- 本来施設管理者として把握しておくべき重要構造物に係る提案を受けるというのは、あるべき姿とは違うように思う。
- 不採択事例だけでなく、採択事例も見られるようにした方が良いと思われる。
- 未着手の箇所数を大きく減少させたとのことで、京都府として努力しているのを感じている。
- 引き続き、提案者への説明は丁寧に行っていただきたい。

<三宅委員>

- 府民の目を通して気づかせてもらう情報収集の意義もあると考えられる。
- 本事業を提案した場合には大変きめ細やかに対応してもらえていると思う。
- 不採択事例の掲載はとても良いと感じるが、チラシにも不採択事例が掲載されていると、提案に歯止めがかかってしまう懸念がある。まずは相談してくださいといったメッセージが伝わるような周知方法もあるのではないかな。

<三好委員>

- 京都府として重要と考える事業についてはしっかりと進めており、その上で府民の方の目線も活かしているという形で、見せ方を工夫しても良い。
- 提案を考えている方への情報の提供については、土木事務所等からコミュニケーションを取ってフォローできていると認識している。

<井尻委員>

- 応募要領等に採択事例も掲載いただきたい。

<末廣委員>

- 提案者への、採択された提案に係る着手時期などの回答など、市町村としても引き続き協力して調整したい。

【参考】令和5年度委員会意見(R5.8.23開催)

<玉田座長>

- 提案の受付回数について、職員の働き方改革の観点から現在の2回を1回に減らす等も考えられ、今後の参考としてもらいたい。
- 提案の受付方法について、提案者が少ない場合はFAXは止め、自治会長に働きかける等、電子申請を増やす取り組みを進めてはどうか。
- 第1段階チェックで不採択となった提案のうち、他事業実施に分類されたものは府の事業を正当化する指標になり得る。
- 第2段階チェックの不採択理由に「関係法令、構造基準等と適合しない」の項目があるが、河川堤防の護岸整備や歩道照明が「関係法令、構造基準等に適合しない」で不採択となることに疑問が残る。技術審査は倫理観を持ち、しっかりと審査してもらいたい。
- 採択箇所の進捗状況について、R1年度とR2年度の河川工事が未着手となっているが、提案から1～2年で対応すべき中で時間が経ち過ぎている。5年程度経過した場合は、台風等により浚渫土が流されてしまっていないか等、事業の妥当性を確認した上で進めているのか。
- アンケートの自由意見について、件数も入れてはどうか。ネガティブな意見もあると思うが、ポジティブな意見の件数が分かる方が職員の励みとなる。職員がやりがいを感じる資料のまとめ方をしてもらいたい。

<三宅委員>

- 第2段階チェックの不採択理由に「予算不足」の項目はないが、予算は足りているのか。予算不足のために、優先順位を付けて順位が低い提案を不採択としていることはないのか。今後災害の増加が予想される中で、予算は現状維持で良いのか、増額を検討しなくて良いのか。
- アンケート調査は提案時に回答されているため、採択通知等が送られることを知らない方が採択結果の通知をもらえるのか、不採択理由を教えてもらえるのか提案時に心配されていたと思われ、採択結果や不採択理由の連絡を受け、安心されているのではないかと考えられる。
- アンケート調査について、潜在的に良い評価が多いのではないかと思う。要望事項と併せて、事業に対する印象や満足度を聞き取り、より丁寧に把握することで、より良い事業にできると思うため検討してはどうか。

<横山委員>

- アンケートの自由意見にある事業の周知方法と進捗状況の連絡について、提案者は採択箇所の工事が始まる時期を気にしている。
- 信号機新設の提案は、設置条件を満たさずに不採択となる事例が多い。提案者に対して不採択理由の説明を続けることに加え、建設交通部のような不採択事例を作成し、周知すると理解を得やすいのではないか。

<脇本委員>

- アンケートの審査結果の通知方法について、不採択や一部実施となった場合は希望者に文書だけでなく、電話で不採択理由を説明されており、今後もきめ細やかな対応を続けてもらいたい。
- 負担の少ない方法で工事着手時に提案者へ連絡等の配慮をお願いしたい。ニーズが高い事業であり、引き続き事業を実施してもらいたい。
- 府管理施設の要望が市町村に寄せられた場合、府に情報提供している。市町村管理施設の提案の情報をいただければ対応していきたい。